つよい子

余市町立大川小学校 学校だより
第 9 号
令和８年11月２日発行

【令和8年度重点目標】・自分の思いを語り、相手の考えを認め、自己調整しながら主体的に学ぶ子どもの育成
・『心・環境・関係』を整え、自ら考えて行動する子どもの育成

子どもの１日、子どもの１年

～ 学習発表会の姿から ～

校長　大山　敏広

◆感染症対応についてのお礼とお詫び

朝夕の冷え込みが日ごとに強まり、初雪の便りも聞こえる季節となりました。ほんの少し前までは、暑さ対策に気を遣っておりましたが、あっという間に防寒対策を考える時季となり、気候の変化に戸惑うほどです。

先日の学習発表会では、子どもたちは日頃の学習の成果を発揮しようと一生懸命に励んでおりました。この発表会を機に新たな挑戦をしたり、みんなとひとつの曲や発表を完成させることの喜びや心地よさを味わったりと、小学校段階で経験すべき貴重な時間となりました。

しかしながら、学習発表会開催後においてインフルエンザの蔓延に伴い、学級・学年閉鎖、さらには学校閉鎖の措置をとることとなりました。急な措置により、保護者の皆様にはご家庭での対応やスケジュール調整等で多大なご負担とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。また、緊急対応へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

学校では今後も集団生活を送る中で、健康な体づくりにつながる取組と教育活動が両立するように努めてまいります。各御家庭におかれましても引き続き、お子さんの健康観察や予防の取組にご理解とご協力をお願いいたします。何よりまずは、現在、罹患している皆さんの早期回復を願っております。

◆子どもの成長と「１日・１年の重み」

先日の学習発表会では、子どもたちへ温かい拍手をありがとうございました。日頃の学習成果を存分に発揮する子どもたちの姿は実に頼もしく、深い感動を与えてくれました。
発表を終えた子どもたちに「素晴らしい発表だったよ」と声をかけると、笑顔を見せ、胸を張って誇らしそうに応えてくれました。１年前の姿から大きく成長した様子やその表情を見て、改めて「子どもにとっての１年」の大きさを実感いたしました。

私たち大人が過ごす１年と、子どもたちが過ごす１年。同じ１年ではありますが、人生を重ねてきた大人にとっての１年に比べ、子どもたちにとっての１年は、心も体も劇的に変化し、飛躍的に成長する「かけがえのない時間」です。この時期に吸収する知識、育まれる心、乗り越える経験の密度は、大人の想像を遥かに超えています。



「子どもはみんな成長の途中」です。
つまずくことも、遠回りすることもあるかもしれませんが、毎日着実に前へ進んでいます。「１日の重み、１年の重み」を今一度胸に刻み、一人一人の可能性を引き出せるよう、今後の教育活動に励んでまいります。これからも、子どもたちの健やかな成長を保護者の皆様、地域の皆様とともに温かく見守り、支えていければ幸いです。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。